

視点

子どもにとっての魅力的な遊び

沖縄キリスト教短期大学 地域こども教育学科
准教授 糸洲理子



乳幼児期の子どもが育つためには、何よりもまず、安心・安全な環境の下、自分なりの興味・関心を基に、思う存分、遊ぶことが大切です。幼児期の教育は、一人の子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を育む最も重要なものであり、その後の教育の基礎となります。このことは、『幼稚園教育要領』の「第1章 総則 第1節 幼稚園教育の基本」で、「幼児は安定した情緒の下で自己を十分に発揮することにより発達に必要な体験を得ていくものであることを考慮して、幼児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるようにすること」が重要であるとして示されています。

一方、新型コロナウイルス感染症の蔓延は、私達の生活を全く予想もしなかったものへと変えてしまいました。コロナ以前から、経済活動や技術革新などによる社会の変化や子育て環境の変化など様々な要因により子どもの遊びが変化していると指摘されていましたが、新型コロナウイルス感染症により、幼児教育・保育現場では幼い子ども達の命を守るために、子どもにとって最も大切な遊びや園生活を制限せざるを得ない状況へと追い込まれました。

コロナ以前のある年、学科の同僚と「子ども達がごっこ遊びの中でカードのポイントで支払い（の真似）をしている」と話題になりました。「私達大人の生活の様子を子どもはよく観察している。おもしろい！」と話が盛り上がり、これがきっかけとなり、同僚と「子どもの遊び」について共同研究を始めました。沖縄県内の幼稚園、保育所、認定こども園の10年以上の保育経験者を対象に「ごっこ遊び」に関するアンケート調査からスタートして、県内の幼児教育・保育現場での子どもの遊びの観察、保育者を対象に遊びについてのインタビュー調査まで、4年間の研究となりました。特に2021年度に行った

子どもの遊びの観察では、子ども達の遊びとその発想の豊かさに何度も驚かされました。

あるこども園の4歳児クラスでの「おうちごっこ」では、小学生役の子どもが、「おかあさん、ここがわからないからおしえて」と言うと、母親役の子どもが「おかあさんは、いま、ごはんをつくるのにいそがしいから、あとで！」と返答し、子どもが「わかった」と言いながら、黙々と勉強（ふり）していました。その傍では、お姉さん役の子どもが赤ちゃん（人形）の髪を梳いて、トントンと優しく寝かしつけていました。このごっこ遊びは、それぞれの家庭の様子が垣間見られた微笑ましいものでした。また、ある保育所では、12月の少し寒い時期でしたが、5歳児がお互いに遊びのイメージを共有し、力を合わせて砂山を作っていました。さらに、試行錯誤しながら、その周囲に溝を巡らせて水を流し、「おんせん！」「あしゅはきもちいいなあ」と、大人顔負けの言動で温泉を楽しんでいて、思わずクスッと笑ってしまいました。これらは、温泉や足湯など大好きな家族との生活体験を再現した遊びでした。

子どもにとっては、人や物、自然や社会のできごとなど身近な環境への関わりそのものが遊びとなり、好奇心、興味・関心、探究心を持った学びへとつながります。

特に、園生活で子どもが最も信頼を寄せる保育者は、子どもの人格形成や幼児期にふさわしい生活をする上で大きな影響を与える存在です。そのためには、社会がどのように変化しようとも、保育者自身が周囲の環境や社会情勢に興味・関心を持ち、探究心を持って物事に関わることで、子どもにとって魅力ある遊びの経験と学びを援助する役割を果たすことが、結果として、魅力ある幼児教育の創造につながるのだと、共同研究を通して改めて実感しました。

令和 5 年度収支決算・事業計画（案）等を決議

4月17日（水）、東京・アルカディア市ヶ谷にて常任理事会が、32人の出席により開催されました。はじめに、尾上正史副会長から開会のことばがあり、引き続き、田中雅道会長からあいさつがありました。

その後、議題に入り、議長に角谷正雄氏（新潟県）が選出され、議事録署名人に近藤宏氏（北海道）、飯塚拓也氏（茨城県）が選出されました。



■（一財）全日私幼研究機構からの報告

はじめに、（一財）全日私幼研究機構・安家周一理事長より、令和6年度のゆたかなまナビ利用料に代わる資金提供が、全日私幼連より行われることについて、感謝の言葉が述べられました。

次に、人員増加により手狭となった事務室を全日私幼連・事務局と同フロアへ移転することになるとの報告がありました。

また、令和6年度以降の組織体制について、副理事長が3名体制になることや、新たに経営企画専門部会（仮）の設立が検討されている等の説明があり、引き続き公益法人格取得に向けて運営していくと述べられました。

続いて、加藤篤彦専務理事よりさらに詳細な説明があり、質疑応答の時間が設けられ、活発な意見交換が行われました。

■審議案件（1）令和5年度収支決算及び会務監査報告の件

まず、令和5年度収支決算について、福井徹人総務委員長から説明があり、石橋税理士より補足説明がありました。

次に、川島教孝監事、畠山一雄監事、内橋彰監事から会計監査についての報告がありました。それを受け、田中会長からは補足説明と、加盟園の皆さまにご協力頂いた、能登半島地震の義援金について感謝の言葉が述べられました。続けて、内野光裕副会長からも、さらなる補足説明が述べられました。

その後、質疑応答に移り、外部監事の久保会計士等から回答がなされ、審議の後、全会一致で承認されました。

■審議案件（2）令和5年度事業報告の件

令和5年度事業報告について、各常置委員会委員長、こどもがまんなかプロジェクトおよび政令指定都市特別委員会委員長から説明がありました。審議の後、全会一致で承認されました。

■報告案件 会務運営報告

各常置委員会委員長、こどもがまんなかプロジェクトおよび政令指定都市特別委員会委員長より会務運営報告がなされました。

最後に、松岡明範副会長から閉会のことばが述べられ、散会となりました。

（総務委員長・福井徹人）

全日本私立幼稚園連合会

令和6年度 事業計画 (案)

= 総務委員会 =

【具体的活動内容】

〈会務に関する事項〉 >

1. 会務の総括に関する事項
 2. 組織機能強化に関する事項
 - ・ 役員の役割（責任と権限）並びに任期の明確化
 - ・ 委員会体制の見直し
 - ・ 組織の法人化の検討
 - ・ 役員と事務局員との密接な連携
 3. 各種会議に関する事項
 - ・ 各種会議の開催
 - ・ オンライン会議の活用による諸会議や委員会活動の活性化
 4. 事務局に関する事項
 - ・ 事務局体制の強化（職員の採用、総務委員のフォローなど）
 5. (一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構との調整に関する事項
 6. 全日本私立幼稚園 PTA 連合会に関する事項
 - ・ 事業計画や予算案等の検討、作成（PTA 連合会常任委員会との連携を図る）
 7. 会則等の見直し
 - ・ 会則
 - ・ 会則施行細則
 - ・ 総会議事規則
 - ・ 旅費規程
 - ・ 事務局就業規則
 8. 各種情報発信に関する事項
 - ・ 加盟園への情報提供体制の見直し及び実施
- 〈会計に関する事項〉
9. 予算・決算および会計その他財務全般に関する事項
 - ・ 予算の見直し（本連合会の活動目的に合わせた）

10. 会費に関する事項
 - ・ 会費の見直し及び執行について
- 〈その他〉
11. JK 保険の充実、加入促進に関する事項
 12. 表彰に関する事項
 13. 震災復興に関する事項
 14. 国際交流事業に関する事項
 15. 災害積立金に関する事項
 16. 全日私幼連要覧の作成
 17. 他の委員会の所管に属さない事項

= 政策委員会 =

【具体的活動内容】

1. 私立幼稚園・認定こども園の振興に関する事項
 - (1) 【一般補助】私立幼稚園経常費助成の国基準単価の増額要望
 - ・ 令和5年度 都道府県平均 204.504 円
 - 国基準単価 197.020 円（国基準以下は3県のみ）
 - (2) 「特別補助」の都道府県導入率の向上のための都道府県団体への啓発
 - ①教育改革推進特別経費（教育の質の向上を図る学校支援経費）の都道府県実施率の向上
 - ②教育改革推進特別経費（子育て支援推進経費）の充実
 - ③私立幼稚園等の特別支援教育経費の充実
 - (3) 「特別補助」の交付税交付金化への要望
 - (4) 私学助成園の処遇改善（都道負担増額の確保）
 - (5) 3歳未満在宅児の受け皿を充実（施設型給付園と共通）
 - (6) 基礎自治体と私学助成園の関係充実
 - (7) 地域特性を踏まえた私学助成園の運営と振興
 - (8) こども誰でも通園制度（仮称）への対応
2. 施設型給付園の振興に関する事項
 - (1) 認定こども園委員会との連携
3. 幼稚園由来の施設型給付園の独自の在り方を追求
 - (1) 保育所・保育所由来の施設型給付園との違

いを探求

- (2) 3歳未満在宅児の受け皿を充実（私学助成園と共通）
- (3) 施設型給付園の処遇改善
4. 研究課題に関する事項
 - (1) 私学助成・公定価格と適切な保育料に関する事項
 - (2) 私学助成と施設型給付の違いに応じた対応
 - (3) 保育料無償化の検証 ゼロ価格効果の検討
 - (4) こどもがまんなかとしての振興対策を提言していく
5. 諸会議及び研修
 - (1) 政策担当者会議の開催
 - (2) 設置者・園長全国研修大会 分科会（振興）の担当
 - (3) 子ども・子育て支援等分科会（現子ども・子育て会議）

＝ 教育研究委員会 ＝

【具体的活動内容】

1. 地区教育研修大会の実施に関する事項
2. 全国教育研究、事務局担当者会議の実施に関する事項
3. 幼児教育の質の向上に関する事項

＝ 経営研究委員会 ＝

【具体的活動内容】

1. 少子化進行への経営的対応に関する事項
2. 「幼稚園・こども園ジョブナビ」の活用・人材確保に関する事項
3. 就業規則等、労務管理に関する事項
4. 処遇改善・給与体系等、評価に関する事項
5. 私学法改正に関する事項
6. 税制に関する事項
7. 私立幼稚園・認定こども園の経営実態調査の実施と報告に関する事項
8. 第39回設置者・園長全国研修大会（奈良県）の企画実施に関する事項
9. 後継者育成研修会の開催に関する事項
10. 全日本私立幼稚園 PTA 連合会全国大会の運営

に関する事項

11. その他、経営に関する事案に適宜対応する

＝ 広報委員会 ＝

【具体的活動内容】

1. 私幼時報の発行に関する事項
 - ・全国の私立幼稚園・認定こども園の設置者・園長を対象に私幼時報を発刊する。年12回、8,400部（1回あたり）発行予定。
2. ホームページを活用した広報活動に関する事項
 - ・ホームページへの掲載情報の充実化を目指すことで全日私幼連の団体活動等を周知する。
3. こどもがまんなか PROJECT 推進のための広報活動に関する事項
 - ・私幼時報やホームページ等を通じてこどもがまんなか PROJECT 推進のための広報活動を行なう。
4. 他の委員会と連携し、園運営等の諸問題についての調査協力を行う。
5. 私幼時報を身近なものとするべく、私幼時報の紙面充実をはかる。

＝ 102条園委員会 ＝

【具体的活動内容】

1. 子ども・子育て支援新制度に関する事項
2. 各市区町村、各都道府県団体との情報交換と補助のあり方に関する事項
3. 102条園特有の問題に関する税制等の調査研究に関する事項
4. 幼児教育の無償化への対応に関する事項
5. その他、102条園に関する事項

＝ 認定こども園委員会 ＝

【具体的活動内容】

1. 認定こども園に関する情報の収集と発信に関する事項（経営研究委員会所管経営実態調査に参加）
2. 子ども・子育て支援新制度見直しに関する事項
3. 政府が進める「幼児教育・保育の無償化」後の課題に関する事項

4. 感染症対策・自然災害や震災など危機管理に関する事項
5. 少子化に伴う園児減少による認定こども園の園経営（施設見学）に関する事項
6. 認定こども園に関する調査・研究に関する事項
7. 政策委員会と連携した関係省庁との協議・連絡及び政府予算対策運動に関する事項
8. 他団体との連携

＝ こどもがまんなかPROJECT企画推進会議＝

【具体的活動内容】

1. 冊子の発行・配布・普及に関する事項
 2. 共生・国際的支援活動に関する事項
 3. 日本文化、地域文化、各国文化の学び・継承に関する事項
 4. 社会への普及啓発活動に関する事項
 5. 他委員会等との連携・共有に関する事項
 6. 協賛・後援団体（企業）の募集に関する事項
1. での調査・研究に関する事項
 2. 政令指定都市・中核市に対する、全ての種類の認定こども園・幼稚園に関する都道府県からの権限移譲についての調査・研究に関する事項
 3. 政令指定都市・中核市における地方版子ども・子育て会議や、利用定員設定や施設整備に関わる審議会への私幼団体の積極的な参画についての調査・研究に関する事項
 4. 幼稚園・認定こども園が行う特別支援事業や一時預かり事業幼稚園型（2歳児定期利用等）、一時預かり事業一般型、小規模保育所併設等、各政令指定都市・中核市の課題についての調査・研究に関する事項
 5. 各政令指定都市・中核市を総括している都道府県私幼団体とのしっかりした協力体制と円滑な連携体制の在り方に関する事項
 6. 各政令指定都市・中核市に対し、既に都道府県から権限移譲されている制度や補助システム等についての情報交換の場として、年に一回特別委員会研修会の開催に関する事項

＝ 政令指定都市特別委員会＝

【具体的活動内容】

1. 比較的に大規模園が集中する大都市（各政令指定都市・中核市）特有の子ども・子育て支援新制度移行が進みつつある中、私学助成園・新制度移行園（認定こども園を含む）共に今後の運営の在り方や各都市における少子化対策につい

「子ども主体の保育」が「わかる」から「できる」へ

みんなでつくる園の未来！

保育ナビ

こども・子育て政策が大きく動く今、持続可能な園づくりの役に立つ、「国の動き」「人材育成」「園経営」「保育内容」「子どもの姿ベースの指導計画」「ミドルリーダーの仕事」など必須の情報をお届けします。

≡ B5判 64ページ 定価 1,200円（本体 1,091円+税 10%） ≡

子ども主体の保育に
役立つ実践や
ヒントを紹介！

職員の育成・
離職防止に役立つ
情報を紹介！

本社：〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 <https://www.froebel-kan.co.jp>
ご注文・定期購読のお申し込みは 03-5395-6608 保育事業部 営業推進チームまで

キンダーブックの **フーベル館**

全日本私立幼稚園連合会
令和6年度・一般会計収支予算書(案)
令和6年4月1日～令和7年3月31日

(単位:円)

科目	令和6年度予算額A	令和5年度予算額B	(A-B)	備考
事業活動収支の部				
① 事業活動収入の部				
1 基本財産運用収入	15,000	15,000	0	
基本財産運用収入	15,000	15,000	0	基本積立金・大河内・由田利息
2 特定資産運用収入	100	100	0	
特定資産運用収入	100	100	0	国際交流・財政運用・退職給付・災害金利息
3 受取会費収入	168,195,000	162,000,000	6,195,000	
一般会費	156,990,000	162,000,000	△ 5,010,000	(会費額は、600円×園児700名×加算会費) 加算園数 3号認定子ども含む
特別会費	11,205,000	0	11,205,000	1園あたり1,500円徴収
4 事業収入	29,000,000	25,000,000	4,000,000	
研修事業	16,000,000	14,000,000	2,000,000	研修会参加費等
保険事務手数料	13,000,000	11,000,000	2,000,000	
5 受取補助金等収入	30,000,000	0	30,000,000	
団体研究助成金	30,000,000	0	30,000,000	研修福祉会
6 受取寄付金収入	6,000,000	6,000,000	0	
寄付金収入	6,000,000	6,000,000	0	JK保険広告料
7 受取雑収入	6,030,000	6,030,000	0	
受取利息	30,000	30,000	0	
その他	6,000,000	6,000,000	0	私幼時報広告料等
8 他会計からの繰入収入	0	0	0	
9 財政運用積立預金取崩収入	0	0	0	
10 退職給付引当預金取崩収入	500,000	500,000	0	
11 災害積立預金取崩収入	0	1,000,000	△ 1,000,000	
事業活動収入計	239,740,100	200,545,100	39,195,000	
② 事業活動支出の部				
1 事業費支出	170,850,000	145,300,000	25,550,000	
① 総務関係事業費	67,400,000	63,750,000	3,650,000	
総会	7,200,000	7,000,000	200,000	会議費・旅費
理事会	7,500,000	7,500,000	0	会議費・旅費
常任理事会	6,000,000	6,000,000	0	会議費・旅費
団体会長会	3,200,000	2,500,000	700,000	会議費・旅費
監事会	700,000	700,000	0	会議費・旅費
総務委員会	2,000,000	2,000,000	0	会議費・旅費
諸会議費	5,000,000	5,000,000	0	会議費・旅費
全私連	750,000	1,100,000	△ 350,000	分担金・全私学連合
国際交流事業	100,000	300,000	△ 200,000	OMEF分担金等
全審連	250,000	250,000	0	分担金・全国私立学校審議会連合会
表彰事業	3,000,000	3,000,000	0	助統表彰
出張費	1,200,000	500,000	700,000	旅費等
渉外費	1,100,000	500,000	600,000	慶弔費等
要覧事業	500,000	500,000	0	作成費
地区活動事業	15,900,000	15,900,000	0	各地区に対する活動金
奨励事業	13,000,000	11,000,000	2,000,000	各都道府県に対する奨励金
② 政策関係事業	15,400,000	17,000,000	△ 1,600,000	
政策委員会	2,000,000	2,000,000	0	会議費・旅費
都道府県政策担当国会議	3,400,000	3,000,000	400,000	会場費等
予算対策費	0	6,000,000	△ 6,000,000	
政策推進費	0	6,000,000	△ 6,000,000	
振興対策費	10,000,000	0	10,000,000	
③ 教育研究関係事業	22,000,000	2,000,000	20,000,000	
教育研究委員会	2,000,000	2,000,000	0	会議費・旅費
ゆたかなまナビ利用料	20,000,000	0	20,000,000	
④ 経営研究関係事業	22,300,000	18,800,000	3,500,000	
経営研究委員会	2,000,000	2,000,000	0	会議費・旅費
幼稚園・こども園JOBナビ	3,000,000	3,000,000	0	サーバー維持費等
設置者・園長研修会	15,000,000	10,000,000	5,000,000	会場費等
後継者育成研修会	1,000,000	1,000,000	0	会場費等
経営実態調査	1,300,000	2,800,000	△ 1,500,000	調査費
⑤ 広報関係事業	19,000,000	19,000,000	0	
広報委員会	2,000,000	2,000,000	0	会議費・旅費
会報等発行事業	16,000,000	16,000,000	0	私幼時報発行費・送料
インターネット事業	1,000,000	1,000,000	0	ホームページ維持費
⑥ 102条園関係事業	2,300,000	2,300,000	0	
102条園委員会	1,300,000	1,300,000	0	会議費・旅費
都道府県代表者会議	1,000,000	1,000,000	0	会場費等
⑦ 認定こども園関係事業	5,000,000	5,000,000	0	
認定こども園委員会	2,000,000	2,000,000	0	会議費・旅費
認定こども園研修会	3,000,000	3,000,000	0	会場費等
⑧ 団体教育研究関係事業	16,450,000	16,450,000	0	
地区別教育研究会	16,000,000	16,000,000	0	地区教研大会助成金
全日私幼連負担分	450,000	450,000	0	記念品代
⑨ 災害費関係事業	1,000,000	1,000,000	0	
災害費	1,000,000	1,000,000	0	見舞金等
2 管理費支出	59,600,000	55,000,000	4,600,000	
給料	35,500,000	35,500,000	0	
退職金	500,000	500,000	0	
福利厚生費	5,000,000	4,000,000	1,000,000	
事務所費	2,000,000	2,000,000	0	共益費・水道光熱費等
印刷費	100,000	100,000	0	
消耗品費	1,200,000	1,200,000	0	
賃借料	2,000,000	2,000,000	0	印刷機等リース代
通信費	1,500,000	900,000	600,000	各種通信費・発送費
交通費	100,000	100,000	0	都内交通費等
租税公課費	6,000,000	3,000,000	3,000,000	事業税・消費税等
支払手数料	300,000	300,000	0	振込手数料等
備品費	200,000	200,000	0	
顧問料	3,000,000	3,000,000	0	弁護士・会計士・税理士・社労士
訴訟費	2,000,000	2,000,000	0	民事裁判への対応
雑費	200,000	200,000	0	
3 他会計への繰出支出	0	0	0	
こどもがまんなかPROJECTへ繰出支出	0	0	0	
4 特定預金繰入支出	0	0	0	
財政運用積立預金繰入支出	0	0	0	
退職給付引当預金繰入支出	0	0	0	
災害積立預金繰入支出	0	0	0	
5 予備費支出	495,100	245,100	250,000	
事業活動支出計	230,945,100	200,545,100	30,400,000	
事業活動収支差額	8,795,000	0	8,795,000	
当期収支差額	8,795,000	0	8,795,000	
前期繰越収支差額	20,783,046	20,783,046	0	
次期繰越収支差額	29,578,046	20,783,046	8,795,000	

※園割会費：12,000円×園数=A 園児割会費：70円×園児数（当年度5月1日・3号認定子ども含む）=B 会費=A+B+特別会費

● 3.6 OECD Education 2030 プロジェクト

OECD Education 2030 プロジェクト ～世界の幼児教育・保育への示唆～

こどもがまんなか PROJECT 企画推進会議と認定こども園委員会が共催し、日本 OECD 共同研究の協力のもと、令和 6 年 3 月 6 日(水)、東京都・アルカディア市ヶ谷で【OECD Education 2030 プロジェクト：世界の幼児教育・保育への示唆】が開催され、約 70 名の参加者が集まりました。

○開会式

尾上正史副会長から開会の挨拶が行われ、引き続き、石田明義認定こども園副委員長から研修会の概要説明が行われました。

○記念講演

記念講演では、OECD 教育局教育訓練政策課シニア政策アナリストの田熊美保氏を招いて、「世界の幼児教育・保育への示唆」と題して講演をいただきました。田熊氏は、まず OECD が 2015 年から進めてきている「Education 2030 プロジェクト」について話されました。これからの社会がより VUCA (変わりやすい、不確実、複雑、曖昧) な時代になっていくことを見据え、より良い未来の創造に向け、包括的でウェルビーイングな社会を実現していく必要がある。その担い手となる、今を生きる子どもたちに求められる資質・能力とはどのようなものなのか議論がなされ、世界中のマルチステークホルダーと協働で開発したのが、「ラーニング・コンパス (学びの羅針盤)」だということです。また、学びの羅針盤には中心的な概念に「エージェンシー」があり、それは個人の主体を軸に責任ある行動、思考、判断等から周囲の環境に変化をもたらすものとされます。幼児期にもその基礎を育むことができる等、学びの羅針盤のエッセンスと幼児教育への可能性について、示唆に富んだ講演となりました。

○記念対談

講演に引き続き、「未来に向けての幼児教育について」と題し、田熊氏と全日本私立幼稚園連合会・田中雅道会長の対談が行われました。まず、田中会長が評価について、評価の判断は最終的には個人の判断が必要であり、客観的な評価というのはあり得ないと思うので、指標を用いての評価による幼児教育の均一化には疑問に感じている。また、今言われている働き方改革についてヨーロッパでは、以前から“人が幸せを感じる職場”とは何なのかを追求してきているが、日本ではその視点が欠けていた。親



の働き方と共に愛着形成により「心の安全基地」をしっかりと持ち、探索活動を広げ育つ子どもが、11時間も施設にいることが是とされている現状を全日私幼連としては危惧している、と問題提起をされました。田熊氏は、評価について日本ではジャッジ(判断・評定)と囚われがちだが、OECDとしては「ラーニングコンパス (学びの羅針盤) 2030」として示している通り、評価やカリキュラムの枠組みではなく、自力で歩みを進め、意味のある、また責任意識を伴う方法で方向性を見出す必要性を示している。また、「エージェンシー」として自分軸を持つことの大切さと、保育者は保育のあり方を一方的に決めるのではなく、目の前の子どもの様子、状態、言葉を見つめ汲み取る資質が求められていると話されるなど、これからの幼児教育について多岐にわたり対談されました。

その後は質疑応答となり、お二人には時間の許す限り参加者からの質問に答えて頂きました。最後に濱名浩認定こども園委員長から閉会のことばがあり、盛況のうちに終了となりました。

記事作成協力

(全日私幼連認定こども園委員、岩手県・みどり幼稚園／佐々木栄光)

(全日私幼連認定こども園委員、徳島県・はのうら幼稚園／木内啓嗣)



日頃より、本連合会の活動にご理解とご協力賜り、誠にありがとうございます。

さて、本連合会では、幼稚園ナビに代わる新システムとして、求人(求職)機能に特化した『幼稚園・こども園ジョブナビ(以下、幼こジョブナビ)』を令和6年3月1日より運用しております。

『幼こジョブナビ』は、幼稚園・認定こども園業界を専門とした無料の求人サイトとして、より多くの加盟園様にご活用いただけるよう、認知度ならびに利用率向上を目的に、求人機能の使い方に特化した動画を配信させていただくこととなりました。

つきましては、下記のとおり、本連合会の加盟園限定ページにて当該動画をご視聴いただけますので、ぜひこの機会に園情報の更新や求人情報を掲載していただき、新しく生まれ変わった『幼稚園・こども園ジョブナビ』をご活用くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 配信期間 令和6年5月2日(木)～
2. 視聴方法 全日本私立幼稚園連合会 HP 動画・資料一覧ページにて配信
3. 配信動画 「幼稚園・こども園ジョブナビの利用方法について」
4. その他
 - ・加盟園限定ページのサイト URL が不明な場合、本連合会または都道府県団体事務局にお問い合わせください。
 - ・スマートフォンやタブレット端末で動画を視聴しながら、実際に PC を使ってジョブナビアカウントを操作していただくことを推奨いたします。なお、お手元に動画用資料「240502 幼稚園・こども園ジョブナビ動画資料」を準備していただいたうえでご視聴いただけますと幸いです。資料は加盟園限定ページからダウンロードすることができます。

以上

サイト利用に関するお問い合わせ

幼稚園・こども園サポート事務局

Mail:support@kdg.jp

サイト利用以外に関するお問い合わせ

全日本私立幼稚園連合会

Mail:info@youchien.com

幼稚園・こども園ジョブナビ 概要

全日本私立幼稚園連合会の運営する幼稚園・こども園に特化したイベント・求人情報を掲載した全国版の総合情報サイト(完全無料)

【主な目的】

- ・幼稚園教諭免許取得者等の人材確保
- ・合同就職説明会やイベント参加を通じて学生にいち早く幼稚園・こども園に興味を持ってもらい、実習から就職までのルート作成

- 2017年11月1日 幼稚園ナビとしてオープン
- 2024年 3月1日「幼稚園・こども園ジョブナビ」にリニューアル
研修機能は「ゆたかなまナビ」へ

- 幼稚園利用率 **81.9%**
- 掲載求人数 **2,984**件
※ハローワーク求人 約1,026件
- イベント総掲載数 **1,355**件 (有効イベント：9件)
- 求職者会員数 **17,322**名

幼こジョブナビのログイン（ブラウザ）

① PCやスマホで「幼稚園 ジョブナビ」で検索していただき、以下の検索結果をクリックして下さい。もしくはURLやQRコードからアクセスください。

<https://youchien-recruit.kdg.jp/>

ウェブ 画像 動画 知恵袋 地図 リアルタイム 一覧▼

幼稚園 ジョブナビ



https://youchien-recruit.kdg.jp > user > login ▼

求職者ログイン - 幼稚園・こども園ジョブナビ

幼稚園・こども園ジョブナビは、幼稚園に関する求人・イベント情報・お役立ち情報を掲載した幼稚園に特化した全国版総合情報ナビサイトです。

② 開いたページの右上の「施設管理者ログイン」ボタンを押してください。

幼稚園・こども園ジョブナビ - 幼稚園・こども園の求人・イベント・お役立ち情報が満載！

幼稚園・こども園 ジョブナビ

施設管理者ログイン

求職者ログイン

HOME

イベントを探す

合同就職説明会

求人を探す

幼稚園を探す

お役立ち情報

③ 都道府県から
選択してください

幼稚園・こども園ジョブナビ
設置者管理画面

都道府県を選択してください。

北海道	青森県	岩手県	宮城県
秋田県	山形県	福島県	茨城県
栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
東京都	神奈川県	新潟県	富山県
石川県	福井県	山梨県	長野県
岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県
奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県
岡山県	広島県	山口県	徳島県
香川県	愛媛県	高知県	福岡県
佐賀県	長崎県	熊本県	大分県
宮崎県	鹿児島県	沖縄県	

④ 幼稚園ナビのログインIDとパスワードでログインできます。

※ID、パスワードが不明な場合は「お問い合わせ」フォームが support@kdg.jp へご連絡ください。アカウント再発行フォーマットを送付します。

幼稚園・こども園ジョブナビ
設置者管理画面（東京都）

ログインID :

パスワード :

ログイン

パスワードを忘れた方はこちら

戻る

有料の求人サイトとの違い

	幼こジョブナビ	ハローワーク	有料求人サービス
知名度	△	◎	○
集客力	△	○	○
応募者数	△	○	○
掲載数	制限なし	制限あり	制限あり
掲載料金 成果報酬	なし	なし	あり 一律〇万円 年収の〇%
掲載期間	原則1年間	3か月	料金次第
機能	○ ハローワーク連携 スカウト機能	△	◎
有料職業 紹介	×	×	○

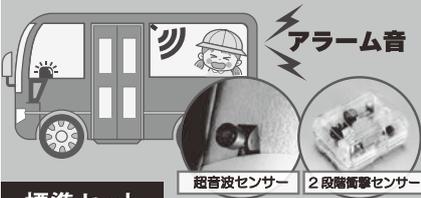
ハローワークに準じて公共的な求人サービスとして
お使いいただけますと幸いです

ホーネット 車内置き去り防止システム

カーセキュリティ機能付き車内置き去り防止システム

- エンジン停止後にブザーが鳴ります。
- 見回りながら後部に設置したリモコンボタンを押してブザーを止めます。

車内センサーが人の動きや振動を検知して
アラームでお知らせ！



標準セット

車両の位置情報や移動履歴など
スマホやPCで管理できます。



緊急通報

アナログによる
ヒューマンエラー
防止

デジタルに
よる見守り

株式会社 **チャイルド社** コンピュータ部

〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-39-11
ホームページ： <https://www.child.co.jp/>



～年間連載⑦～

令和5年12月号より、慶応義塾大学総合政策学部の中室牧子教授による年間連載を開始いたします。教育を経済学的手法で分析する「教育経済学」を専門としておられ、教育にも科学的な根拠が必要であることを説いておられます。多数のメディアにも出演実績のある中室教授の連載から、さらに幼児教育への理解を深めていただけますと幸いです。

第7回 幼児教育の質をどうやって測るのか

慶應義塾大学
総合政策学部教授 中室 牧子

前回、幼児教育の「質」が大切であること、日本のデータを用いた研究が必要であることについて述べました。私の研究グループはかねてから、幼児教育の「質」を計測するという研究を実施してきています。ヘックマンの研究は、質の高い幼児教育を受けた子どもたちが受けなかった子どもたちよりも、将来の学歴、所得、生活の状況が恵まれていたことを示した研究ですが、現代の日本では3歳以上の子どもたちはほぼ全員が幼稚園か保育所に通っている状態で、通っていない子どもがほとんどいません。ですから、「幼児教育を受けるかどうか」よりも、「どんな幼児教育が良いのか」「どの幼稚園や保育所の質が高いのか」ということが重要になってくるわけです。

私たちは複数の自治体と共同で、世界的にも広く用いられている「保育環境評価スケール」(新・保育環境評価スケール①<3歳以上> Harms, Clifford & Cryer 著 埋橋玲子訳, 2016年)という評価方法を用いて、保育の質を数値化することを試みてきました。トレーニングを受けた調査員を数名、幼稚園や保育所に約3時間半程度派遣して、約500近い項目について、幼稚園や保育所の中で実施されているかどうかチェックを付けて行くことで、質を測ることができます。「保育環境評価スケ-

ール」は、「空間と家具」、「養護」、「言葉と文字」、「活動」、「相互関係」、「保育の構造」など総合的な幼児教育の質を計測しようとしています。配置基準などで計測される「構造の質」とは異なり、いわゆる「プロセスの質」に焦点を当てているとも言えます。

私たちが3つの自治体の幼稚園や認可保育所で、「保育環境評価スケール」を用いて、幼児教育の質を計測した結果が図に示されています。これを見ると、日本の幼児教育の質は、アメリカの大規模調査と比較して決して低くはないことがわかります。しかも自治体によらず、よく似た傾向があるということもわかります。具体的には、安全や保健衛生、食事・排泄などを評価した「養護」や、保育者と子どもの関係構築やしつけなどを評価した「相互関係」の面での質が高いのです。

少し話がそれるようですが、コロナ禍が幼児教育の質に与えた影響はなかったのでしょうか。私たちの研究グループでは、コロナ禍も継続的に調査を実施してきました。「養護」に加え、集団活動などを評価した「保育の構造」はやや低下する傾向があったものの、全体として大きく幼児教育の質が低下したという結果は得られておらず、コロナ禍においても幼児教育の質は維持できたと

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に準じた指導計画

月刊 保育とキャリア

毎月2日 発売



ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

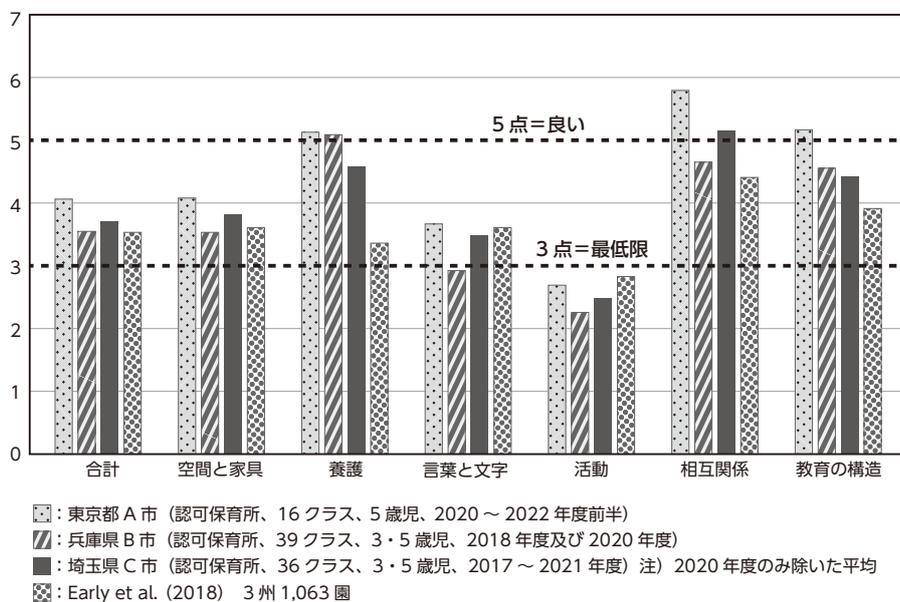
言えそうです。また、私たちがこのデータを用いて分析したところ、コロナ禍を経験した子どもたちは、3歳時点では明確に発達の遅れはみられなかったものの、5歳時点では平均4.39か月の遅れがみられ、しかし質の高い幼児教育を受けていた子どもは、コロナ禍においても発達が良い傾向があることを明らかにしました。この論文は、小児科分野の一流国際学術誌の査読論文として公表されています。

一方、「活動」として分類される側面に課題があることがわかってきました。「活動」というのは、例えば微細運動、造形、音楽やリズム、積み木、ごっこ遊び、自然科学、数字を使った遊びなどが展開されているかどうかということの評価をしています。一番幼児教育らしいと言える「活動」の評価が低くなるのは意外なことですが、「活動」において評価される内容としては、①子ども達が自発的に遊びを選択できる環境、②選んだ遊びを「遊びこむ」時間の確保、③遊びや活動が広がる遊具・玩具の質・量の確保、がありますが、これが達成されていない幼稚園や保育所が多いという現実があります。

加えて、同じ自治体の幼稚園・認可保育所であっても、質にはかなりばらつきがあることがわかってきました。また、同じ学年に複数クラスある幼稚園や認可保育所の質を比較してみても、かなりばらつきがあることがわかります。つまり、保護者にとっては同じ保育料を払っていたとしても、通わせている園によって子どもが経験する保育の質が違うことがあり得

るという状況にあることとなります。

そして、上記のうち、2つの自治体のデータを用いた私たちの研究では、幼児期に質の高い幼稚園や保育所に通っていた子どもたちは、就学後に問題行動が少なく、小学校2年生時点の学力が高いことが示されています。アメリカの幼児教育は、特に2000年以降に読み書き・計算などの学力重視の指導に転換してから、幼児教育の効果がほとんど見られなくなったという指摘が多くなっています。しかし、日本の幼児教育は、伝統的にあまり学力重視の指導を行いません。むしろ、子どもの存在のありのままを受容し、日々の生活や遊びを中心とした子どもの主体的・協同的な活動を重視しています。このような日本の幼児教育のありかたが、数字で計測された幼児教育の質の高さにあられ、そして就学後の成果につながっているとすれば、日本の幼児教育は世界に誇れるものだと言えるのではないのでしょうか。



クラスや園のみんなで楽しめる
アプリがチャイルドブックから登場!

App Store からダウンロード Google Play 入手しよう! ダウンロード無料

お誕生日会に 生活指導に いっしょによむぞう 絵本の読み聞かせに

いっしょによむぞう サブスクリプション料金

特別価格	1アカウント/月額プラン	5,500円(税込)
	1アカウント/年額プラン	55,000円(税込)

※チャイルドブック担当営業員を介してご購入いただいた場合の価格です。

初回会員登録限定 **30日間無料体験実施中!** 対応OS iPad OS 14以降 Android 5.0以降

会員登録した日から30日間無料ですべての機能をご利用いただけます。ぜひ、この機会にお持ちの端末でお試ください。

iPadはこちら Androidはこちら

さあ、いっしょに手のひらのばいきんをやっつけよう! てあらい じゃあね! 次の回は、かめのポーズだよ。 やったあー!! 画面の動きをまねしながら楽しく手洗い!

このポーズは...クリア! ポーチ!! エー!ん やられた~

〒112-8512 東京都文京区小石川 5-24-21
 TEL 営業 03-3813-2141 編集 03-3813-3785

チャイルド本社

日本私立学校振興・共済事業団の融資

幼稚園の経営者のみなさん、こんなお悩みはありませんか？



園舎が古くなったので、安全性を考えて建て替えたい

○ 耐震化事業に関する利子助成制度です。ぜひご利用ください！

対象

- 旧耐震基準の園舎建て替え
耐震化促進のための補助金
(私立学校施設整備費補助金等)
の対象となる改築事業
- 耐震補強工事・非構造部材の
耐震対策事業
防災(耐震)機能強化のための
補助金の対象となる改修工事

事業団の融資

この融資制度は文部科学省から私立学校施設高度化推進事業費補助(利子助成)を受けることができますので

全借り入れ期間
実質0.5%の
固定金利です。

※融資金利が0.5%以下の場合
利子助成は行われません



融資上限 = 補助対象事業費 - 補助金



給食室を増築したい
けど資金が…



最新の金利は
私学事業団の
ホームページに
掲載しています。

○ 通常の融資もご相談ください。

低利・固定金利
20年間の
借り入れが可能！

返済方法は
利息負担の少ない
元金均等返済

主な事業と融資金利(令和6年4月現在)

主な事業内容	返済期間(据置年数含む)		
	20年以内	10年以内	6年以内
【一般施設費】 園舎・給食室などの建築・用地取得	1.40	0.90	0.80 年%
【教育環境整備費】 通園バスや校教具などの購入	—	0.90	5年6か月以内 0.60

※融資金利は毎月見直しています。金利は融資契約時点の金利が適用され、償還までの固定金利となります。

※上記費目以外にも災害復旧事業、公害対策事業等が対象となります。

○ 融資条件が一部優遇されます

私立幼稚園・認定こども園を対象とする私学事業団の融資について、融資条件が一部優遇されています。

☆ 融資率の優遇

園舎等の建築、土地購入 事業費の80%以内 → **95%以内**
園舎等の改修 事業費の75%以内 → **95%以内**

☆ 資産査定額の優遇

(直近決算の)純資産の部合計額 × 30%
→ (直近決算の)純資産の部合計額 × **40%**

※上記以外にも融資条件があります。詳しくは私学事業団ホームページをご覧ください。または私学事業団融資課までお問い合わせください。

◇お問い合わせ◇
日本私立学校振興・共済事業団
融資部融資課まで

☎ 03(3230)7862~7864, 7866~7868 ✉ yushi@shigaku.go.jp
https://www.shigaku.go.jp/s_yushi_menu.htm
〒102-8145 東京都千代田区富士見1-10-12

三方よし～研修あれこれ～

滋賀県私立幼稚園・認定こども園協会への加盟は17園ですが、研修に力をいれています。従来からの「若手教員の集い」「人権教育」等の他に、「保護者も巻き込むこと」「他園に学ぶ」というコンセプトのもとに研修拡充を図っています。一昨年は外国語絵本の魅力について、教員、外国絵本取り扱い業者、保護者、子どもたちに集まっていただき絵本の魅力にたっぷりと触れました。昨年は「親と教師で学ぶ特別支援教育」として同じ方向で学ぶ機会を持ちました。

一方、建学の精神を基盤に運営を行う私立の良さを生かして、「他園の教育に学ぶ」は園独自の取り組みや先生達の工夫や意気込みに直に触れ、感じ、参加者にはよい刺激になっています。

令和6年度より滋賀県教育委員会が幼児教育センターの立ち上げと幼児教育コーディネーターの配置を図ることから、本協会としても独自に幼児教育コーディネーターの配置を図り、協会として教員の資質の向上に努めます。

滋賀県には、「三方よし」という近江商人の経営哲学があり、三方とは「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」で、売り手と買い手が満足するのは当然の事とし、社会に貢献できてこそ良い商売になるという考え方です。

教育界も、教員が十分に生きがいを感じ、子どもが健やかに成長することにより、次代の社会の担い手になって行くことが大きな願いです。

そのための研修に今後も力をいれていきたいと考えています。

(滋賀県私立幼稚園・認定こども園協会前会長、
大津市・滋賀短期大学附属幼稚園前園長／小野清司)

親子でフルオーケストラを

岐阜県私立幼稚園連合会では、岐阜県私立幼稚園PTA連合会との共催で、田中陽治氏指揮・岐阜県交響楽団による音楽鑑賞教室を開催しています。「幼稚園児親子のためのコンサート」というこの公演は、PTA役員の方々が企画・会場運営を行い、2012年より続く人気の企画で、1,290人収容の「不二羽島文化センター スカイホール」が2部構成の両公演ともほぼ満席になります。内容も毎年同じでは無く、指揮者の田中氏と岐阜県交響楽団の方々が子ども達向けに工夫を凝らした演出・演目がこのコンサートの最大の魅力です。

ほとんどの子ども達がオーケストラの演奏を目の前で見て、音を聞く初めての経験です。演奏の合間には「楽器紹介」のコーナーがあります。弦楽器・管楽器・打楽器の違いや、各楽器の種類による音の高低や響きをわかりやすく紹介していきます。また、年長の子ども達の「指揮者にちょうせん！」というコーナーもあります。抽選で選ばれた子ども達が、実際に楽団を指揮します。子ども達は同じリズムになるよう、一生懸命指揮棒を振りますが、どうしてもオーケストラの音が速くなったり遅くなったり……。緊張の中やり終えた表情が、とても晴れ晴れとしているのが印象的でした。演目は親子が楽しめる曲で、手拍子をしたり、一緒に歌ったり、楽団と客席の一体感が感じられました。

「幼稚園児親子のためのコンサート」は、良質の音楽を生演奏で聞く、貴重な体験ができる機会であり、また、親子一緒に気軽に参加できる演奏会です。今後も幼児期にいろいろな体験ができる取り組みを進めていきたいと思えます。

((一社)岐阜県私立幼稚園PTA連合会副委員長、
揖斐郡・揖斐幼稚園／大山純)

編集後記

気温も上がりだんだんと夏の訪れを感じ始める季節となりました。

雨も多い季節ですが、晴れた日には外で楽しそうに遊ぶ子どもたちの声が聞こえてきます。当園では、6月中旬より水遊びを始めています。子どもたちにとっては楽しい活動ですが、事故が起きないように気を付けなければいけない活動です。みなさんご存じだと思いますが『教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン』にプール監視の注意ポイントが以下のよ

うに書かれています。“・監視者は監視に専念する・監視エリア全域をくまなく監視する・動かない子どもや不自然な動きをしている子どもを見つける・定期的に視線を動かしながら監視する・十分な監視体制の確保ができない場合については、プール活動の中止も選択肢とする・時間的余裕をもってプール活動を行う”とあります。

子どもたちが安全に楽しい水遊びが出来るよう、配慮して保育をしていきたいと思えます。
(広報委員・見山任昭)

今後の主な会合予定

全国大会 10月29・30日 奈良県・奈良市

おしらせ

今月号の～全日私幼連からのご報告～は休載となります。

来月号に特別バージョンとしてお届けいたします。

(広報委員会)

※会合の日程は変更になる場合がございます。
予めご了承くださいませようお願い申し上げます。



遊具：HOUSE

未来は、あそびの中に。

偉大なる発明も、世界を変えた公式も、
あそびから生まれた。

あそびは、すべての創造の源です。

あそぶ力を伸ばすことは、未来を切り拓くこと。
創造力をのばす。共感力をはぐくむ。ルールをまなぶ。
あそびから、こどもは無限の力を羽ばたかせていく。

あそびの環境に、あざやかな驚きを。

私たちは、未来をつくる仕事です。

